

- 問1 古墳時代における渡来人の移動と技術伝来が、当時の日本列島の社会に与えた影響について述べた文章として、最も適切なものはどれですか。
(2025年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 青銅器と鉄器が同時に伝わり、金属器を使った道具の製造が初めて行われた。 | 2. 須恵器の製造技術や漢字・儒教などが伝わり、社会の技術や文化が大きく向上した。 | 3. 大陸からの技術移転により、日本列島で初めて米作り（水稲耕作）が始まった。 | 4. 全国に国分寺や国分尼寺が建てられ、仏教を中心とした国家体制が完成した。 |
|--|---|---|--|
- 問2 大阪府の百舌鳥・古市古墳群に含まれる、三重の濠が巡らされた日本最大の前方後円墳の名称と、それが登録されているユネスコの区分の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。
(2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------|-----------------|------------------|-----------------|
| 1. 大仙古墳（世界自然遺産） | 2. 大仙古墳（世界文化遺産） | 3. 五色塚古墳（世界文化遺産） | 4. 箸墓古墳（世界文化遺産） |
|-----------------|-----------------|------------------|-----------------|
- 問3 巨大な前方後円墳が各地で盛んに造られていた古墳時代の5世紀ごろ、ヤマト王権の王たちは、自らの地位を国際的に認めさせるために中国の王朝へ使節を送りました。このとき、倭の五王が朝鮮半島での軍事的な指揮権などを認めてもらうために交渉を行った相手は、当時の中国のどの勢力ですか。
(2024年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|------|----------|
| 1. 隋 | 2. 漢 | 3. 唐 | 4. 中国の南朝 |
|------|------|------|----------|
- 問4 4世紀ごろ、近畿地方の有力な豪族たちが中心となって組織した大和政権において、各地の豪族を従えていた最高権力者の称号は、当時何と呼ばれていましたか。
(2024年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------------|-------|-------|
| 1. 執権 | 2. 大王（おおきみ） | 3. 天皇 | 4. 將軍 |
|-------|-------------|-------|-------|
- 問5 大和政権が朝鮮半島や中国大陆から移り住んだ人々を厚遇し、積極的に組織へ組み込んだ理由として、最も適切な説明はどれですか。
(2023年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 狩猟採集中心の生活から、初めて稲作を中心とする社会へと移行させる必要があったため | 2. 大陸の優れた土木技術、金属加工、文字の知識などを取り入れ、政権の支配力を強めるため | 3. 遣唐使を派遣する代わりに、大陸の役人を招いて日本の政治制度をすべて中国風に改めるため | 4. 地方の豪族が持っていた鉄器の製造技術を独占し、天皇の権威を否定させるため |
|---|--|---|---|
- 問6 古墳時代の東アジアにおける対外関係と文化の流入について、その背景と内容を説明したものとして正しいものはどれですか。
(2021年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 倭の王権は朝鮮半島の諸国や中国の王朝と交流し、馬具などの実用的な技術や高度な工芸品を取り入れていた。 | 2. 中国大陆の南朝とのみ交流し、朝鮮半島の高句麗や新羅とは敵対関係にあったため、半島由来の文物は存在しない。 | 3. この時期の日本は大陸から完全に孤立しており、大陸の文化が流入し始めたのは平安時代以降である。 | 4. 大陸との交流は小規模な民間貿易に限られており、国家間の正式な外交や技術導入は行われていなかった。 |
|---|---|---|---|
- 問7 5世紀前半に近畿地方を中心として大型の前方後円墳が建設され、5世紀後半には九州の熊本県江田船山古墳と関東の埼玉県稲荷山古墳の双方から同じ大王の名が刻まれた鉄剣・鉄刀が出土しました。この歴史的出来事から読み取れる内容として最も適切なものを、次の選択肢の中から1つ選びなさい。
(2025年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 近畿地方を中心とする王権の勢力が九州から関東にまで拡大していたこと | 2. 東日本を中心に前方後円墳が造られ政治的統一が完成したこと | 3. 九州地方の首長が独力で関東地方まで直接支配していたこと | 4. 邪馬台国の女王が中国の魏に使いを送り自らの支配権を認めさせたこと |
|--------------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|
- 問8 5世紀の日本において、大和政権が広範囲を支配していたことを示す証拠として、埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣があります。この鉄剣には表面に金象嵌（きんぞうがん）で文字が刻まれており、そこに見られる、当時の大和政権の王を指す名称として正しいものを選びなさい。
(2014年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|------------|----------|--------|
| 1. 聖徳太子 | 2. ワカタケル大王 | 3. 中大兄皇子 | 4. 卑弥呼 |
|---------|------------|----------|--------|
- 問9 3世紀ごろの中国大陆では、複数の勢力が対立して覇権を争っていました。この時期、日本の邪馬台国の女王である卑弥呼が使いを送り、「親魏倭王」の称号を授かったとされる国が含まれる時代の名称を選びなさい。
(2016年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|---------|----------|
| 1. 五代十国時代 | 2. 戦国時代 | 3. 三国時代 | 4. 南北朝時代 |
|-----------|---------|---------|----------|
- 問10 4世紀ごろから大和政権と密接な関係を築き、朝鮮半島の南西部に位置していた国を何といいますか。この国は、五経博士による儒教の伝達や、日本への仏教伝など、大陸文化を日本へ伝える窓口としての役割を果たしました。
(2020年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|-------|------|
| 1. 高句麗 | 2. 百濟 | 3. 新羅 | 4. 魏 |
|--------|-------|-------|------|
- 問11 ヤマト王権の王たちが「倭の五王」として中国の南朝へ繰り返し使節を送り、当時の国際社会において自らの地位を誇示しようとした主な背景と目的として、最も適切な説明はどれですか。
(2024年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|---|---|
| 1. 最澄などの僧を派遣し、仏教を日本へ正式に導入するための許可を得るため | 2. 大陸から稲作の技術を導入し、国内の食料生産を安定させるための指導を仰ぐため | 3. 朝鮮半島における軍事的な指揮権を中国の皇帝に認めさせ、外交を有利に進めるため | 4. 坂上田村麻呂を派遣して東北地方を制圧するために、強力な武器の支援を求めるため |
|---------------------------------------|--|---|---|
- 問12 3世紀ごろ、倭の女王である卑弥呼が使いを送った中国の国と、当時その国と勢力を争っていた国の組み合わせとして正しいものを選びなさい。
(2016年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|-------------|--------------|---------------|
| 1. 魏 —— 呉・蜀 | 2. 秦 —— 楚・斉 | 3. 隋 —— 陳・北周 | 4. 唐 —— 吐蕃・新羅 |
|-------------|-------------|--------------|---------------|
- 問13 近畿地方を中心に現れた、一方が四角形で他方が円形をした鍵穴のような形の古墳が、時代とともに全国各地（東北部から九州）へと広がっていった事実は、当時の政治状況についてどのようなことを示していますか。
(2021年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|-----------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 大和政権（ヤマト王権）の勢力や政治的な影響力が、地方にまで拡大したこと | 2. 大陸から渡来した人々が、日本各地に共通の墓制を直接伝えたこと | 3. 仏教の教えが各地に広まり、新しい埋葬の形式が全国で統一されたこと | 4. 稲作の技術が全国に普及し、各地の農民が協力して巨大な墓を造ったこと |
|--|-----------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|